



# 空き家などの適切な管理をお願いします

近年、老朽化した空き家などが全国的に増加し、社会問題となっております。市においても、放置されている空き家などが周囲に悪影響を与えている事例が増えていることから、空き家などの適切な管理や利活用を推進しています。

## 空き家などの管理は所有者の責任です

老朽化し、放置されて危険な状態となった空き家の倒壊などによる被害を防止するため、今年6月に「敦賀市空き家等の適切な管理に関する条例」が施行されました。

空き家などの所有者は、周辺の生活環境に悪影響を及ぼさないように、空き家などを適切に管理する必要があります。

万が一、倒壊などにより、他者に損害を与えた場合、損害賠償など、管理責任を問われることがあります。

空き家などの所有者は、定期的に状況を確認し、必要に応じて適切な措置を講じるなど、所有者としての責任を果たしましょう。

**管理を支援**  
空き家・空き地  
管理サービス

敦賀市シルバー人材センターでは、家屋の破損、庭木・雑草の状況を目視で確認し、写真を添えて報告するサービスを実施しています。(1回2,000円)  
また、敷地内の草の除草や庭木の伐採なども受け付けています(別途料金)。  
空き家などの管理にお困りの方はご連絡ください。

問合せ先  
敦賀市シルバー人材センター  
☎24・1250

**除去を支援**  
老朽危険空き家除却  
支援事業

老朽化し、危険な状態の空き家などの除却に要する費用を補助します。

**補助内容**  
空き家の除却に要する費用の2分の1(上限50万円)  
※除却に要する費用が20万円を超えるものに限りです。

**利活用する**  
敦賀市空き家・空き地  
情報バンク

空き家・空き地の購入や賃借などの希望がある方に、市内の利用可能な空き家・空き地を紹介する『敦賀市空き家・空き地情報バンク』をインターネット上に公開しています。

利用可能な空き家や空き地を所有する方は、登録カードを住宅政策課に提出することで登録できます。

問合せ先  
住宅政策課 ☎22・8141

**対象**  
補助対象要件に全て該当する建築物の所有者または相続人

**【補助対象要件の一部】**

- ①老朽危険空き家(市が定めた基準を満たす建築物)である
- ②1年以上居住または使用されていない状態にあるもの
- ③所有関係が明確であるもの

※詳しい要件はお問い合わせください。

問合せ先  
住宅政策課 ☎22・8141

空き家・空き地情報バンクの詳細は、

敦賀市 空き家・空き地 検索



2018 広報 敦賀 10月号 6

## 平成30年度市立博物館特別展

# 水戸天狗党 散る 飛龍に

9月22日(土)～10月21日(日)

開館時間 10時～17時

休館日 10月1日(月)・10月15日(月)

入館料 一般300円、高校生以下無料

関連イベント 記念講演会 共催 気比史学会

会場：市立博物館3階講堂 申込不要 聴講無料(要入館料)

### 第一弾「天狗党と徳川慶喜」

日時：9月23日(日)13時30分～

講師：由波俊幸氏(元茨城県立歴史館主任研究員)

### 第二弾「水戸烈士」の呼称と松原神社例祭」

日時：10月13日(土)13時30分～

講師：岩立将史氏(公益財団法人徳川記念財団学芸員)

### 主な展示物

- 刀 無銘(葵崩し紋)徳川齊昭作(弘道館鹿島神社)
- 水藩名士肖像図巻(茨城県立歴史館)
- 会沢正志斎著「新論」(茨城県立歴史館)
- 二大字「尊攘」掛軸(茨城県弘道館事務所)
- 南越陣記(金沢市立玉川図書館)
- 申渡(徳川記念財団)
- 水戸脱士擾亂記(小浜市教育委員会)

### 【展示解説】

今回の特別展では貴重な関連資料を紹介し、水戸天狗党の足跡を辿ります。

申込不要 参加無料(要入館料)  
日時：9月24日(月)、10月14日(日)  
各13時30分

解説：市立博物館学芸員

### 幕末の敦賀、最大の波乱。

今から150年前、わが国では多くの人々が藩の枠を越えて歩き始め、日本という国に行く末を思い描きながら、時には武力を用いて事を遂げようとする、大変混乱した時代を迎えていました。

そうした中、元治元(1864)年12月、尊王攘夷を訴え、はるばる関東から敦賀までやってきた武装集団が、水戸天狗党の人々です。彼らは、ここ敦賀で捕縛され352名が処刑されてしまいました。

明治維新の原動力となった尊攘思想の中心地・水戸藩で一体何が起こり、何故彼らは行軍し、この地で処刑されたのか?

今回の特別展では貴重な関連資料を紹介し、水戸天狗党の足跡を辿ります。

問合せ先 市立博物館 ☎25-7033

右：武田耕雲斎所用 陣羽織 松原神社蔵(敦賀市立博物館寄託)  
左：伝藤田小四郎所用 陣羽織 個人蔵(大野市博物館寄託/画像提供：大野市博物館)  
題字：千葉半厓氏

